

Title	前号目次 奥付
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1924
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.18, No.10 (1924. 10)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19241001-0171

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

プロレタリアに一致する事はないだらう。協同組合運動に於ける共産黨の任務は次の如きものでなければならぬ。(一)共産主義思想を普及する事、及び(二)此運動を革命的階級闘争の一機關に變改し、併せて地方組合を全體としての國民的組織から分離せしめざる事。又曰く「革命的協同組合がプロレタリア革命の期間を通じて演ずべき所の重要な役目を考察して、第三共産主義インタナショナルは各黨派各團體各組織に次の如く勸告する。協同組合運動を改革し其等を革命的労働組合と結合せしめ得るために、組合の内部に共産主義團體を形成するの必要を彼等が強調し宣傳す可きであるといふ事を。此の故に會議は共産主義インタナショナル執行委員會に對し茲に述べられたる仕事を遂行するを以て其任務となす所の協同組合部を組織す可き事を指令する。此部門は此等の協同組合の目的を實現するために國際的の會合や會議を召集するであらう。」(Theses and Resolutions

of the Third World Congress of the Communist International, pp. 151-152. 153) 以上に依つて視知し得る如く、共産黨は協同組合内部に共産主義團體を發達せしめ、彼等の革命主義的宣傳により、或はそれを労働組合と結合せしむる事により、徹頭徹尾協同組合を以て共産主義の原則に合致したる組織に改造せんと試みつゝあるものである。(二六五—二六七頁參照)

本書は更に第八章に於て露西亞協同組合運動の國際的關係を第九章に於て此運動の露西亞の知的進歩に對する教育上の貢獻を述べて居る。本書は固より卓越せる文献として擧ぐ可きものではなからう。併し以上稍々長きに亘つて紹介したる所以は茲に取扱はれたる問題の重要なを思ひて、之れが社會主義露西亞の研究者にとりても、社會改造手段としての協同組合運動に興味を有する人々にとりても、共に一讀するの徒爾ならざるを信するが故である。(伊藤秀一)

前號(第十八卷)目次(大正十三年十月號)

論

較差地代と絶對地代(上、中篇) 小泉 信三

革命期の羅馬に於ける社會闘争

續編(二) 高橋誠一郎

雜錄

ラスキンの美術批評家時代の終焉 奥井復太郎

農奴解放後の露西亞社會運動(三完) 伊藤 秀一

生産的及び不生産的なる語に

就て(二) 榎本 鐵治

佛蘭西經濟學に於ける價值論の

發達(二) 津田 誠一

●一冊定價金五拾錢 郵金壹圓五厘
●半年分金五圓四拾錢 郵金
●一年分金十圓八拾錢 郵金

●編輯及び事務に關する一切の用件は發行所宛
●營業に關する用件は發賣元宛
●原稿締切期日は發行の前月十日限

大正十三年九月卅日印刷納本
大正十三年十月一日發行 每月一回一日發行

三田學會雜誌 禁轉載
編輯者 江田 範 保
發行所 東京市芝區三田二丁目二番地慶應義塾内
印刷者 金子 鐵 五 郎
印刷所 東京市赤坂區新町五丁目四十二番地 金子 活 版 所

發賣元 丸善株式會社三田出張所
東京市芝區三田貳丁目壹番地
電話高輪 一九二六
●尙は本誌は全國各市雜誌店にて販賣す

發行所 東京芝三田 慶應義塾内 理財學會